

神奈川県立湘南支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記の通り開催しました。

審議会等名称	令和5年度 第2回湘南支援学校運営協議会		
開催日時	令和5年8月24日(木) 9:30~11:10		
開催場所	湘南支援学校 会議室		
出席者	学校運営協議会委員8名 本校職員8名		
次回開催予定	令和5年10月31日(火) 9:30~11:00		
問い合わせ先	神奈川県立湘南支援学校 副校長 高田 君恵 電話 0463-34-7244 FAX 0463-34-8707		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・会議経過	<p>【学校運営協議会】</p> <p>1 学校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プール授業を久しぶりに行う予定であったが、修理する必要が生じ1学期中は工事のため使えなかった。2学期からは授業で使う予定。</li> <li>・夏休み中特体連の大会に参加することができた。</li> <li>・職員は夏休み中、自己研鑽研修など多くの研修を受けている。</li> </ul> <p>2 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが5類になったが、福祉現場では気を付けて業務をすすめている。</li> <li>・物価高騰がきびしく経費が上がってしまい福祉事業にも大きな影響を与えている。人材確保もきびしくなっている。</li> <li>・少しずつ地域との交流など再開をはじめた。アートハート展を4年ぶりに再開する。</li> </ul> <p>3 1学期の活動報告</p> <p>(1) 各学部より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部 学部研修、交流学习、年間指導計画の配付など。</li> <li>・中学部 中原中との交流会、自力通学の練習、保護者対象進路学習会、授業改善の取り組みなど。</li> <li>・高等部 自主研修、見だしなみ講座、年間指導計画の配付など。</li> </ul> <p>(2) 各グループより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育企画 発達段階に合わせた終業式の例。</li> <li>・学習推進 希望研修、教材教具展、給食(アフターコロナ)、生活指導など。</li> <li>・支援連携 新規作品展の実施、進路見学会・学習会、公開研修会、センター的機能など。</li> <li>・管理運営 防災への取り組みなど。</li> </ul> <p>(3) 部会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目ない支援部会 動画配信、福祉事業所へのアンケート、二宮高校との相互の授業参観など。</li> <li>・防災安全部会 本校の自衛防災訓練に委員の方も参加</li> </ul>		

	<p>(4) 今後に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から地域へ、地域から学校へ。高等部生徒による公民館の清掃活動の再開、地域からはボランティアの募集を再開する。</li> </ul> <p>4 GoogleClassroom 体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の方に動画を視聴。</li> </ul> <p>(校長) 学校の ICT 化は進んでいるが、知的障害の学校としてまだまだ課題はある。うまく活用できるようにすることが大事と考える。</p> <p>(委員) スマホを誰でも持つ時代になって、情報をいかに活用するかが大事になる。</p> <p>5 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災面で、中原中も避難所となっているので、お互いの役割分担が重要になる。</li> <li>→本校は福祉避難所であるので、まず中原中に避難して、その後必要な方が福祉避難所として本校に避難することになる。</li> <li>実際には、すぐに本校に避難する可能性も考えて対応する。</li> <li>・地域の方には、まず中原中に避難と伝えてある。いきなり本校に避難する方はいないと思われる。</li> <li>・福祉避難所の開設は災害発生4日後となっている。福祉避難所は長期の避難を想定しているが、平塚市ではまだ開設したことがない。市でも運営方法を考えている。</li> <li>・この地域は川が多いが、幸いこれまで大きな被害がない。10 数年前に東真土で保育園が冠水しボートで救出されたことがあった。現在は河川対策として浚渫や水路の幅を広げる工事を行って、以前よりも安全になっている。</li> <li>・進和学園も平塚市と協定をむすんでいる。職員も災害派遣福祉チーム(神奈川 DWAT) に登録している人もいる。</li> <li>・高等部の身だしなみ講座について、講師の方は知的障害の専門の方なのか。</li> <li>→知的障害の学校だけでなく、高校などでも講座を行っているが、障害に対してもいろいろ配慮してもらっている。</li> <li>・企業でも対応に困る例がある。公開研修会の講師の方は専門家なのか。</li> <li>→自閉症や強度行動障害の専門的な施設の方である。</li> <li>・最近の子育ての説明でも、動画が効果的である。学校でも GoogleClassroom で動画を配信することは効果的だと思う。</li> <li>・保護者の立場からは、動画は参考になる。先生方の努力がよくわかった。これからも活用したい</li> <li>・黒板を使った授業は、今の子どもたちには理解が進まないという。表情や言葉のニュアンスも大事だと思うが、デジタルの方が伝わりことが多い。</li> <li>・表情を読み取ったりするのが苦手な人には、デジタルの方が伝わりやすい場合が多い。</li> <li>→デジタルは便利だが、使いこなすことが難しい場合もある。他の手段も使っていく必要がある。</li> <li>・スマホの使い方をまず学ぶ必要がある。人を攻撃したり、迷惑をかけたりにして目立つことで変な満足感を得てはいけない。</li> <li>→学校でも携帯・スマホ安全教室を行うなど、きめ細かに指導を続ける。</li> </ul> <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回 10/31(火) 9:30~11:30 を予定。</li> <li>・第4回 2/22(木) 9:30~11:30 を予定。</li> </ul>
--	---